

横浜市 看護職員 採用案内

YOKOHAMA



横浜市立市民病院
Yokohama Municipal Citizen's Hospital

横浜市立脳卒中・神経脊椎センター
Yokohama Brain and Spine Center

看護部長メッセージ

幅広い領域の看護が学べる環境で、共に学び共に育つ

市民病院は横浜市中核病院として、高度急性期医療及び政策的医療を提供しています。あらゆる健康レベルの患者さんに、短い入院期間の中での確かな看護を提供する中でも、患者さんの人格や尊厳を大事にした看護を心がけています。看護は頭(head)、心(heart)、手(hand)の3つの要素が一体となって生まれます。プロの看護師として、自らの頭で考え適切に判断し、倫理観を大切にしたいと、確かな技術を提供していくことが必要です。幅広い領域の看護が学べる環境の中で、専門職としての倫理観を養い、主体的に学ぶ姿勢を持ち続けてほしいと思います。共に学び共に育つことを大切に、看護の仕事が楽しいと思える職場づくりを目指しています。

看護部
マスコットキャラクター
"こころ"



看護部理念

私たちは
健康のあらゆるレベルの患者さんに
真心と思いやりを込めた
安全な看護を提供します。



横浜市立市民病院
副病院長 兼 看護部長
土屋 恵美子

横浜市看護職員 を目指す皆さまへ

安心して学ぶ・成長する・続ける

これからあなたが看護のプロとして、患者さんの心に寄り添い
質の高い看護サービスを提供していくことが
患者さんにとって最適な医療サービスの提供へとつながっていきます。
そのためには、看護師としてのクオリティを日々高め
信頼の看護を提供し続けられるよう
皆さんが働きやすく、働きがいのある環境づくりが大切だと考えます。
横浜市立病院を活躍のステージに
あなたが抱く看護への想いを実現してください。



『YOKOHAMA NURSE』について

横浜市看護職員のシンボルマークは、2羽のカモメが自由な形を示しています。高い実践能力と看護に対する情熱を、それがあなたの自信と誇りにつながるよう願いを込めています。

看護部長メッセージ

急性期から回復期まで、患者さんの個々に寄り添う看護を実践

「私たちはその人らしさを大切にしたい看護を実践し、市民の「いのち」と「くらし」を支えます」という看護部理念のもと、24時間365日、急性期から回復期まで患者さん個々に寄り添った看護を実践しています。患者さんを尊重し、ニーズを捉え対応できるよう、看護師一人ひとりが専門職として幅広い知識や確かな技術を身につけていくとともに、倫理的感性を持ちながら、安心・安全な看護を提供できるよう、日々学び、成長し続ける看護部組織でありたいと思います。
「患者は地域で暮らす生活者」ということを念頭に、多職種・地域医療機関等との連携を図り「その人らしい」生活の再構築を図れるよう支援しています。

看護部
マスコットキャラクター
"ライフ"



看護部理念

私たちは
その人らしさを大切にしたい
看護を実践し、市民の「いのち」と「くらし」を支えます。



横浜市立脳卒中・神経脊椎センター
副病院長 兼 看護部長
野中 麻紀



“安心とつながりの拠点”へ

横浜市立市民病院
Yokohama Municipal Citizen's Hospital

救急医療

24時間365日
救急症例に対応

高度急性期病院として、腹腔鏡下手術や先進医療など難易度の高い手術を1年間で約7,400件実施しています。手術1件1件を安全に実施するため、麻酔科医が常に患者さんのそばで麻酔と手術の進行をコントロールし続けています。手術室は15室あり、高度な医療や手術が速やかに提供できる環境が整っています。

がん医療

患者さん一人ひとりの状態に合わせた
最適な治療と心のケア

地域がん診療連携拠点病院・がんゲノム医療連携病院として、地域医療機関と連携しながら、患者さんの病態に応じた医療を提供しています。がん相談支援センターでは、患者さんやご家族の不安に寄り添うことを大切にしています。外来化学療法室ではQOLを重視し、多職種が連携して安心できる治療環境を整えています。

周産期医療

周産期救急 ハイリスク
妊産褥婦の管理を行う

地域周産期母子医療センターとして、産婦人科と小児科が一体的な対応をしています。自然分娩、母乳育児を推進し、完全母乳同室、助産師による母乳外来などのほか、スタッフの発案によるマタニティビクス、ベビービクスなどに積極的に取り組んでいます。

感染症医療

感染症患者に対して
まん延の防止とともに
良質かつ適切な医療を提供

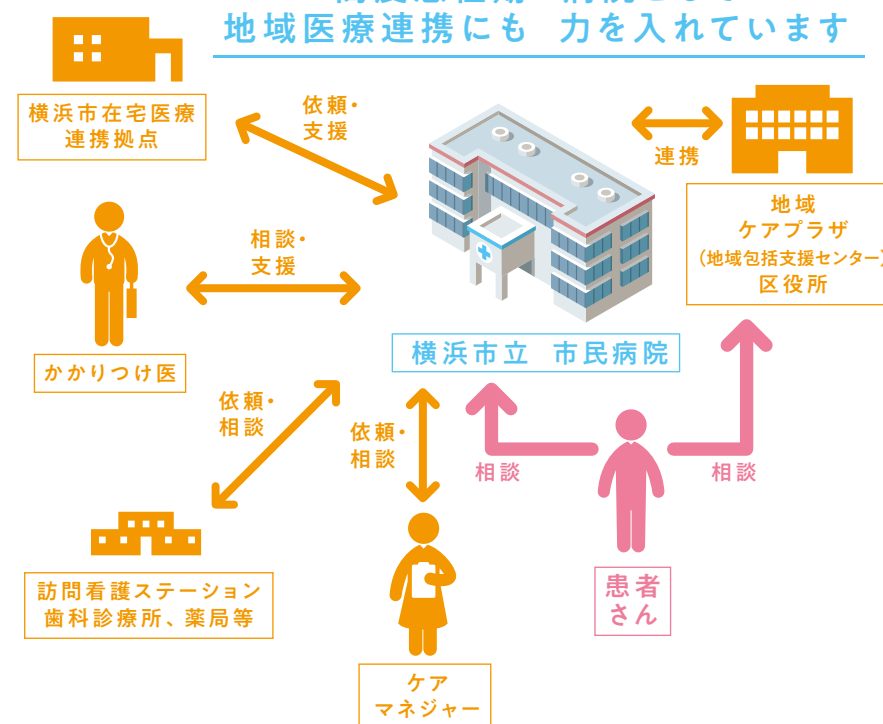
神奈川県で唯一の第一種感染症指定医療機関として専門機関と連携はもちろん、感染症に関する対応訓練や研修など、感染症の予防・啓発活動を行い社会に貢献する医療を提供しています。

災害医療 — DMAT —

災害医療を
支えるために

2014年に神奈川県DMAT（災害派遣医療チーム）指定病院となり、災害発生時に迅速に出動できるよう、訓練を重ねています。また、DMATは広域防災訓練にも参加し、技能の維持向上に努め、院内の防災意識向上にも貢献しています。

高度急性期 病院として
地域医療連携にも 力を入れています



入退院支援

入院前面談の実施による
安心した療養生活

看護師が入院前に面談を行い、入院生活に関する説明を行っています。患者さんが不安なく医療を受けられるよう、多職種と連携を図り、スタッフ全員がおもてなしの心で努めています。

地域連携

住み慣れた地域で
自分らしい生活が続けられるよう支援

地域包括ケアシステムが構築されているなかで、高度急性期病院の看護師の役割は患者さんのADLの維持と、早期に地域に戻るよう支援することです。患者さんやご家族の生活を、退院後は地域の医療・介護職員とともに支えています。地域の訪問看護ステーション等の地域関係機関と情報共有や情報交換を行い、地域と顔の見える関係づくりを行っています。

病院・看護部案内（令和7年4月1日現在）

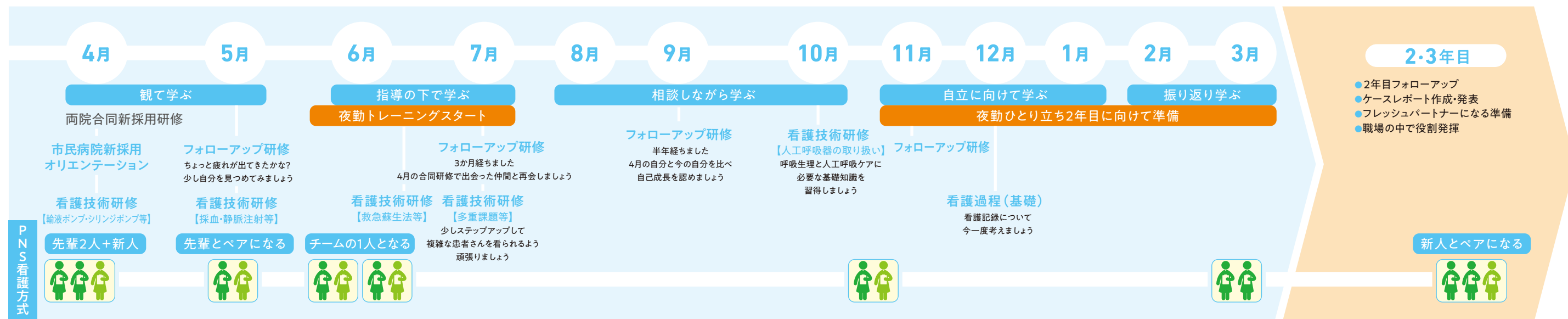
診療科	34科
病床数	650床（うち感染症病棟26床）
部門構成	7階 緩和ケア病棟、感染症病棟、一般病棟 6階 一般病棟 5階 一般病棟 4階 周産期センター、一般病棟 3階 リハビリテーション、一般病棟 2階 手術室、血液浄化センター、HCU、ICU、GCU ほか 1階 予防医療、外来、患者総合サポートセンター、外来化学療法室 ほか 地下1階 救命救急センター、内視鏡、外来、放射線治療室 ほか

看護職員数	約780人
入院患者数	平均約576人／日
分娩件数	平均約96件／月
手術件数	平均約621件／月



新人研修スケジュール

入職から12ヶ月



輸液ポンプ・シリンジポンプ

初めて使用する医療機器、安全に使用するための基本的な知識と技術を、臨床工学技士より習います。



採血・静脈注射

採血や静脈注射について学びます。シミュレーターを使用した練習や研修生同士で実際に採血を行います。



食事介助と口腔ケア

口腔機能やケアの基本を学んだ上で、模型にて技術の習得を目指します。観察方法やブラシの使い方など、摂食・嚥下障害看護認定看護師から直接指導を受けます。



看護過程（基礎）

個別性を踏まえた質の高い看護を行うために、看護過程を学びます。収集した情報から患者さんをとらえ、グループワークを通して様々な視点から看護観を深めていきます。



PNS（パートナーシップ・ナーシング・システム）

2人の看護職員が、パートナーとして対等な立場で互いの特性を活かし、協力し合うことで、その成果と責任を共有する看護方式の事です。互いの違いを認め合い共に成長していくことができます。

新人看護師

私は地元から離れて県外への就職だったので、最初は新しい人間関係や環境に馴染めるか不安や緊張がありました。しかし、PNSを通じて先輩とベアで動けるため、分からないことをすぐに相談できる環境が心強いです。また、一人では気づけないことも、日々の看護業務で組むベア、そして年間を通したフレッシュパートナーの先輩からのアドバイスやフォローのおかげで解決できることが多く、それが自分の成長に大きく繋がっていると感じています。



フレッシュパートナー

PNS看護方式が始まって以来、指導だけでなく、自分が学ぶ機会も増えたように感じます。日々の看護業務のほか、年間パートナーとして1年間いろいろな業務を一緒に行っています。新しくできることが増えれば一緒に喜び、失敗したり悩むことがあれば一緒に改善策を考えるよう意識しています。患者さんに寄り添った関わりができるよう、一緒に努力していきましょう。



フレッシュパートナー

PNS看護方式はパートナーの看護師と一緒に業務を行うので、困ったときすぐに相談でき、安心して業務を行えると感じます。1年目の頃、何をしても不安だった自分に優しく声をかけて指導してくださった先輩方はとても心強い存在でした。そんな先輩方のように、私も新人看護師さんが悩んでいるときや困っているとき、一番に気づいて声をかけることができるように心がけています。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています！



急性期から回復期まで一貫した医療を提供

横浜市立脳卒中・神経脊椎センター
Yokohama Brain and Spine Center

急性期

臨床判断能力から退院支援まで
多岐にわたる看護が求められる

脳血管疾患の多くは突然発症するため、迅速な診断と治療が必要です。専門的な医療機器を備え、24時間365日、脳卒中診療が行える体制を整えています。また脳卒中の予防啓発活動など、横浜市における脳血管疾患医療の中心的な役割を果たしています。

脊髄脊椎・膝疾患では、骨粗しょう症、脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニア、脊椎側弯症などの疾患に対して専門医師による正確な診断のもと、適切な治療を展開しています。看護師には脳血管疾患、神経難病などの疾患や患者の抱える既往歴に関する知識、フィジカルアセスメント能力、臨床判断能力、退院に向けたイメージなど、多岐にわたる看護実践能力が求められます。現場では医師をはじめ、リハビリテーションセラピスト、薬剤師、管理栄養士、MSW、臨床工学技士など多職種との連携も重要です。看護師はその調整役として、患者さんやご家族の思いに寄り添う看護を提供しています。



地域包括ケア

患者さんの個別性に合わせた
多職種での退院支援・調整が重要

脳神経外科疾患や整形外科疾患、循環器疾患など様々な疾患の急性期を脱した患者さんを院内外から受け入れ、一定期間内で地域での生活に戻れるよう支援しています。レスパイト入院では、患者さんができるだけ自宅と同じように過ごせるように環境を整えています。患者さんの望む地域での暮らしができるよう、多職種で協働しています。



地域連携

安心して地域での生活に戻れるように
地域他職種と退院前から連携

往診医や訪問看護師、ケアマネージャー、ヘルパー等と、患者さんの入院中から情報共有を行います。退院後も安心して暮らせるように、退院前カンファレンスで具体的な支援を検討し、退院前訪問や退院後訪問によって患者さんやご家族の不安を軽減します。

回復期リハビリテーション

入院生活のすべての場面をリハビリテーションと捉える

主に脳血管疾患・脊髄脊髄疾患・整形疾患などの急性期治療が終了した患者さんを院内外から受け入れています。訓練や生活場面での関わりを通して「できるADL」を「しているADL」に拡大し、生活の再構築を行い在宅や社会への復帰につなげています。そのために多職種とチームを組み、意見交換を行いながら入院生活すべての場面をリハビリテーションと捉え、日常生活の動作がリハビリにつながるよう支援しています。



多職種連携

患者さん一人ひとりの
ニーズが実現できるように
早期から連携して支援

患者さんがその人らしい生活を続けられるよう、医師、入退院支援看護師、医療ソーシャルワーカー、リハビリテーションセラピスト、薬剤師等と入院時から情報共有を行います。患者さんやご家族の意向を確認しながら、早期に住み慣れた地域に戻れるよう生活の再構築を支援しています。



地域貢献

認定看護師・特定行為研修修了看護師が地域で活躍

集中ケア認定看護師、認知症看護認定看護師、摂食・嚥下障害看護認定看護師、脳卒中リハビリテーション看護認定看護師、感染管理認定看護師、手術看護認定看護師などのスペシャリストが、地域のイベント参加や様々な施設での研修、市民向けの講演などを行っています。市民の健康づくりや施設の感染対策の向上など、地域とともに活動をしています。

病院・看護部案内 (令和7年4月1日現在)

診療科	8科
病床数	300床
部門構成	西病棟
	5階 回復期リハビリテーション病棟
	4階 地域包括ケア病棟
	3階 急性期病棟
	東病棟
	5階 回復期リハビリテーション病棟
	4階 SCU (12床) / 急性期病棟
	3階 急性期病棟
	2階 ICU (6床) / 手術室
	1階 外来診療室 / 地域連携総合相談室
	地下1階 救急外来

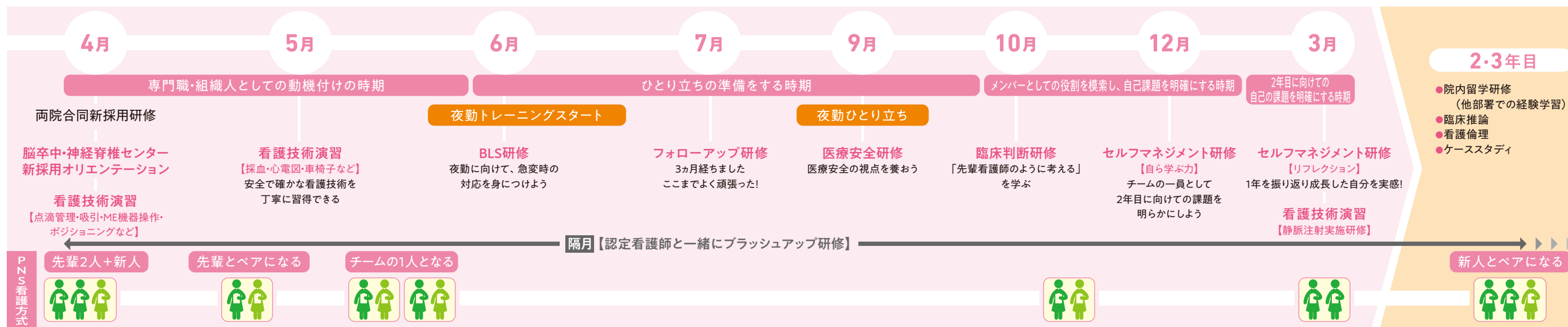
看護職員数 | 約240人
入院患者数 | 平均約252人/日
手術件数 | 平均約108件/月





新人研修スケジュール

入職から12ヶ月



医療機器操作研修

臨床現場では多くの医療機器を扱うことになります。医療機器の構造から、始動、正しいセッティング、注射薬の流量の変更方法など、現場で戸惑うことなく使用できるように何度も繰り返し練習する研修です。



静脈採血

採血の手順を事前学習します。最初は腕モデルで実技練習してから、研修生同士で実際に採血を行ないます。看護師になった実感を感じるとともに、患者さんに確実に実施できるようにと気持ちも引き締まる研修です。



BLS研修

勤務中は、いつ患者さんの急変に遭遇するか分かりません。そんなときでもすぐに対応できるスキルを身につけます。安全に確実な処置ができるように、救急サポートチームの指導で、胸骨圧迫のコツ、注意点、AEDの操作方法などを学びます。



臨床判断【入門編】研修

患者さんに最適な看護を提供するために、臨床判断能力を高める必要があります。「先輩看護師のように考える」思考過程を学び、現場で先輩の支援を受けながら実践できるようになることを目指します。



PNS（パートナーシップ・ナーシング・システム）

新しい環境に適応し、リアリティショックを防止できるように、フレッシュパートナー・教育担当者はもちろん、部署や看護部全体が新人を見守ります。新人が自立するため、安心して学べる環境を整えています。

新人看護師

入職時は技術的にも未熟で不安でしたが、フレッシュパートナーには疑問点もすぐに相談できたので安心でした。焦る性格のため、ケアの際は深呼吸をして落ち着いて行うなどのアドバイスは、今も実践しています。教育担当者を行う振り返りは、成長できた点などプラスの部分伝えてくれるので、前向きな気持ちになりました。先輩たちは新人の成長を見守り、支えてくれる尊敬できる存在です。



フレッシュパートナー

声かけを常に心がけ、何気ない会話や表情から、現在の状況や悩みはないかなどを確認しています。初めから笑顔で患者さんにも真摯に対応していましたし、積極的に質問もしてくるので、順調に成長していると感じています。今後も患者さんの安全を第一に考えて、焦らず確実にケアに取り組んでほしいと思います。指導することを通じて、私たちも一緒に成長しています。



教育担当者

新人看護師とフレッシュパートナーの関係だけでなく、病棟全体で育てることを大切にし、ともに成長できる環境を整えています。定期的に面談を行い、悩んでいることなどメンタル面のサポートを行っています。看護をもっと好きになり、看護師として真摯に患者さんに向き合ってもらいたいと思います。その軸がぶれないよう、個々の性格を見極めて、それぞれのペースに合わせた指導を心がけています。





教育・研修方針

横浜市立病院では、豊かな人間性を持ち、臨床実践能力に優れ、幅広い視野で状況判断し対応できるキャリアナースの育成を目指しています。それを支援するのが、CDP (Career Development Program) です。自己の臨床実践能力を常に点検しながら、一步一步着実に能力を高めていくために5段階で到達目標を設定。あなたの看護師としての能力やライフプランに合わせながらのキャリアアップをサポートします。



キャリアパス

病院間研修派遣

3年以上横浜市立病院に勤務している職員を対象とした、1年間の病院間研修派遣を希望することができる制度があります(派遣人数には限りがあります)。勤務病院では得がたい業務経験を積むことができ、さらなるスキルアップを目指すことができます。

進学支援制度

さらなるキャリアアップを目指す職員を応援します
横浜市立病院では、専門看護師・認定看護師・看護教育者・看護管理者・大学院の進学を目指す職員を支援する制度があります。3年以上市立病院に勤務している職員が対象で、特に病院への貢献が大きいと判断されるものについては、費用の一部を病院で負担しています。在職したまま進学できるので、安心して学ぶことができます。また、資格取得後は認定看護実践時間が確保されるため、自分の専門性を存分に発揮しながら勤務することができます。



スペシャリスト

スペシャリストは特定の領域において卓越した技能や知識を発揮できる看護師です。専門看護師は複雑な問題を抱える患者さん、ご家族に質の高いケアを提供することはもちろん、院内外の研修で講義を行ったり、相談に応じて一緒に看護の検討を行うなど様々な場面で看護師を支援しています。認定看護師は各領域の専門的な知識と技術で、患者さんの療養環境を整える一番身近なエキスパートとして活躍しています。



放射線治療を受ける患者さんご家族を全人的に捉えた個別的な支援によって、計画通りの治療ができるよう貢献しています。通院治療が増加している近年、その人らしく生活しながら安心して治療を受けられるような支援を心がけています。がん看護外来も担当し、困りごとに対するケアやあらゆる場面での意志決定支援など、複雑な問題にご自身で向き合えるよう、多職種チームと連携して専門的視点から支援しています。院内スタッフに対して、看護師の視点で放射線防護を語ることも大切な役割としています。スタッフ個々が放射線の安全安心を守るキーマンとなるよう、診療放射線技師と協働しています。放射線と看護をつなぐため、やりがいをもって活動しています。



同じ病棟で活躍する集中ケア認定看護師の姿に憧れ、自分自身も認定看護師の資格を取ることを決めました。患者さんの血圧が下がったときなど、以前は決められた指示に従うだけでしたが、認定看護師の資格をとったことにより、様々な視点から原因を考え、医師に提案ができるようになりました。論理的に患者さんの状態を分析し、提案する力がついたことが強みです。同僚や医師、多職種から頼りにされることも増えたと感じます。さらに、院内だけでなく、消防や看護学校などでの講義や、市民向けの講演に講師として行くこともあります。認定看護師になることで、最新の知識を常に身につけ、様々な依頼に応えることが、自分のモチベーションになっています。

専門看護師

- 精神看護専門看護師
- がん看護専門看護師

認定看護師

- がん化学療法看護認定看護師
- がん性疼痛看護認定看護師
- 感染管理認定看護師
- 緩和ケア認定看護師
- 救急看護認定看護師
- 慢性心不全看護認定看護師
- 乳がん看護認定看護師
- 集中ケア認定看護師
- 新生児集中ケア認定看護師
- 摂食・嚥下障害看護認定看護師
- 皮膚・排泄ケア認定看護師
- 糖尿病看護認定看護師
- クリティカルケア認定看護師
- 手術看護認定看護師
- 認知症看護認定看護師
- 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師
- がん放射線療法看護認定看護師
- がん薬物療法看護認定看護師
- 呼吸器疾患看護認定看護師

特定行為研修 修了看護師

- 血糖コントロールに係る薬剤投与関連
- 呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連
- 栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連
- 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
- 創傷管理関連
- 循環動態に係る薬剤投与関連
- 感染に係る薬剤投与関連
- 創部ドレーン管理関連
- 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連
- 動脈血液ガス分析関連
- 術中麻酔管理領域

安心して『続ける』

勤務体制・福利厚生

安心して仕事に専念でき、充実した新生活をスタート

横浜市では、組織としてワークライフバランス(仕事と家庭生活の調和)の推進に取り組んでいます。すべての職員がそれぞれのライフステージに合わせて『仕事』『仕事以外の生活』も充実させることを目指しています。福利厚生面では、育児や介護を行う方を支える制度も手厚く充実しています。

勤務体制

2交代制(夜勤:月平均4回程度)

※給与については横浜市立病院看護職員採用選考受験案内をご確認ください

職員寮

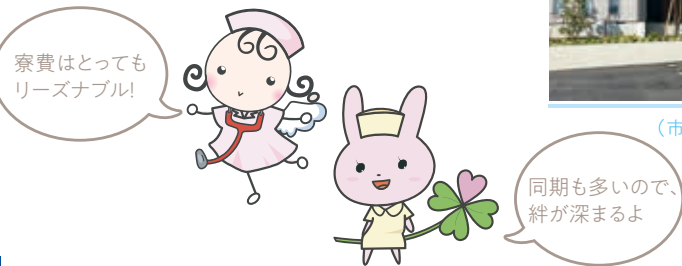
両病院とも、通勤に便利な職員寮を完備しています。市民病院寮は、病院へは徒歩15分以内。横浜駅周辺やみなとみらいへも好アクセスです。脳卒中・神経脊髄センター寮は、オートロックのワンルーム。周辺には、コンビニ・スーパーなども充実しています。



(市民病院)



(脳卒中・神経脊髄センター)



子育て支援

両病院とも、病院の保育施設では、夜間・休日勤務も安心して働けるよう、24時間保育や土日保育を導入しています。また、育児休業制度(3歳に達するまで)、育児時間・部分休業制度、育児短時間勤務制度など、様々な制度を活用できるため、仕事と育児のバランスをとりながら働くことができます。



にこにこ保育園
(0~6歳／市民病院)



ゆず保育園
(0~3歳／脳卒中・神経脊髄センター)

入職を決めた理由



横浜市立市民病院

県外出身です。急性期病院で働きたいと興味を持つようになり、病院見学会に参加しました。働いている人たちの雰囲気がよく、教育体制が整っていることを知り、入職を決めました。実際に入職してみると、1年目から看護師として働いているという実感が持て、やりがいを見つけられる病院です。

青森県出身です。実習で脳梗塞の患者さんを受け持ちました。寝たきりで意思疎通が図れない患者さんを受け持ったことが印象深く、もっと脳について学びたいと思ったことと、教育体制が整っている病院を探していたところ、卒後3年目までフォローしているということで入職を決めました。

横浜市立
脳卒中・神経脊髄センター



卒業校一覧

北海道・東北地方

北海道
札幌市立大学
名寄市立大学
北海道科学大学
北海道文教大学

青森県
青森県立保健大学
青森中央学院大学
弘前大学
弘前医療福祉大学
八戸看護専門学校

岩手県
岩手県立大学

宮城県
東北福祉大学
宮城大学
仙台赤門短期大学
ススキ病院附属助産学校
仙台徳州看護専門学校
宮城県立白石高等学校

秋田県
秋田大学
日本赤十字秋田看護大学

山形県
山形大学
山形県立保健医療大学
山形厚生看護学校
山形市立病院済生館高等看護学院

福島県
医療創生大学
ポラリス保健看護学院

関東地方

茨城県
晃陽看護栄養専門学校
筑波大学大学院

栃木県
国際医療福祉大学
自治医科大学

群馬県
群馬医療福祉大学
群馬県立県民健康科学大学
上武大学

埼玉県
埼玉県立大学
大東文化大学
東都大学
日本医療科学大学
日本保健医療大学
埼玉医科大学短期大学
上尾市医師会上尾看護専門学校

関東地方

千葉県
千葉大学
千葉県立幕張総合高等学校

東京都
杏林大学
駒沢女子大学
聖路加国際大学
創価大学
帝京大学
帝京平成大学
東京医療学院大学
東京医療保健大学
東京工科大学
東京都立大学
武蔵野大学
目白大学
東京墨田看護専門学校
東京都立南多摩看護専門学校
日本赤十字社助産師学校
母子保健研修センター助産師学校
国際医療福祉大学大学院
日本赤十字看護大学大学院

神奈川県
神奈川県立保健福祉大学
神奈川工科大学
関東学院大学
北里大学
国際医療福祉大学
松蔭大学
湘南医療大学
湘南鎌倉医療大学
昭和大学
東海大学
横浜市立大学
横浜創英大学

神奈川県立平塚看護大学
神奈川歯科大学短期大学部
おだわら看護専門学校
神奈川県立衛生看護専門学校
神奈川県立よこはま看護専門学校
川崎市立看護短期大学
国立病院機構横浜医療センター
附属横浜看護学校
湘南看護専門学校
湘南平塚看護専門学校
積善会看護専門学校
横浜市医師会聖灯看護専門学校
横浜実践看護専門学校
横浜市病院協会看護専門学校
横浜中央看護専門学校

中部地方

新潟県
新潟大学
新潟医療福祉大学
新潟県立看護大学

石川県
石川県立看護大学

山梨県
甲府看護専門学校

長野県
信州大学
長野県看護大学
長野県須坂看護専門学校

岐阜県
岐阜大学

静岡県
静岡県立大学
常葉大学
静岡済生会看護専門学校

愛知県
修文大学
豊橋創造大学
名古屋女子大学
日本赤十字豊田看護大学

近畿地方

滋賀県
滋賀県立大学

京都府
京都先端科学大学
京都橘大学

大阪府
大阪市立大学
千里金蘭大学

兵庫県
関西福祉大学
園田学園女子大学
武庫川女子大学

和歌山
和歌山県立医科大学

中国・四国地方

島根県
島根県立大学
出雲医療看護専門学校

岡山県
岡山県立大学
山陽学園大学

広島県
県立広島大学
広島国際大学
広島文化学園大学
広島市立看護専門学校

山口県
大島看護専門学校
YIC看護福祉専門学校

愛媛県
愛媛大学
聖カタリナ大学
宇和島看護専門学校

高知県
高知県立大学

九州・沖縄地方

福岡県
高尾看護専門学校
福岡県立大学大学院

熊本県
熊本保健科学大学

大分県
大分県立看護科学大学

沖縄県
沖縄県立看護大学
名城大学
那覇市医師会那覇看護専門学校

直近5年間に入職した職員の卒業校(卒業時の名称)です。



写真提供: 横浜港客船フォトコンテスト



オープン・ホスピタル：安心の環境を知って体験！

春 **開催時期** 3月 **開催時間** 半日～1日
参加対象者 横浜市立病院で就職を考えている看護学生
 (次年度、最終学年のみ)
プログラム シャドーイング、病院概要説明など

夏 **開催時期** 8月 **開催時間** 半日～1日
参加対象者 横浜市立病院に関心のある看護学生
 (1年生、最終学年を除く)
プログラム シャドーイング、病院概要説明など

※その他の開催については、
 横浜市看護職員採用情報ページでチェック！



病院見学(随時)

開催日 原則月曜日～金曜日(随時)
開催時間 10:00～12:00、14:00～16:00
プログラム ご希望に応じてご案内します

WEB説明会

開催日 原則火曜日・木曜日(変更の可能性あり)
開催時間 16:00～18:00
プログラム 先輩看護師が病棟の様子を紹介！
 気になること、何でもご質問ください



横浜市立市民病院



横浜市立脳卒中・神経脊椎センター



イベント・採用に関する問合せ

横浜市医療局病院経営本部人事課

TEL 045-671-4822 [平日 | 月～金]
 8:45～17:00

by-saiyo@city.yokohama.lg.jp **横浜市看護職員 採用** **検索**

